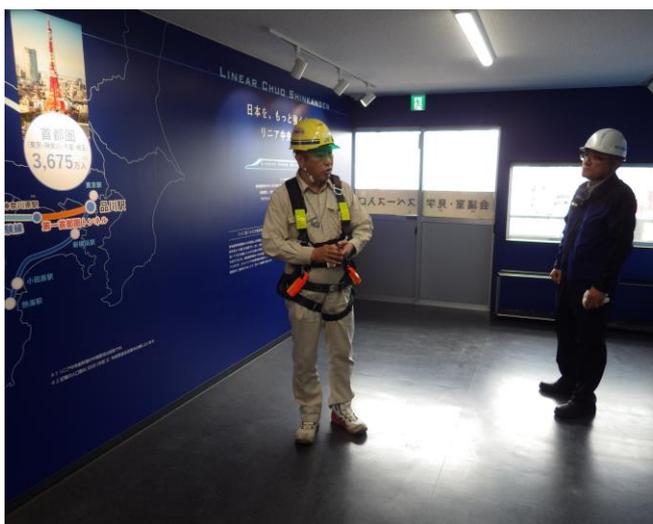


神奈川県労働局長パトロールを実施

神奈川県労働局（局長 児屋野 文男）は、第76回全国労働衛生週間（10月1日～7日）に向けて、準備期間中（9月）の取組として、労働局長による建設パトロールを実施いたしました。



工事概要の説明を受ける児屋野局長（右）



トンネル内部の状況

1 パトロールの目的

全国労働衛生週間は、労働衛生に関する国民の意識を高め、職場の自主的な活動を促して労働者の健康を確保することを目的として実施しています。

また、令和5年度からの5か年は第10次粉じん障害防止総合対策の推進期間であり、ずい道建設工事における粉じん障害防止対策を重点事項の一つに位置付けています。

このような状況を踏まえ、ずい道建設工事における粉じん障害防止対策をはじめ、化学物質管理や熱中症対策等の労働災害防止対策の取組状況を確認するため、労働局長による建設パトロールを実施しました。

2 パトロールを実施した工事の概要（令和7年9月18日（木）実施）

- 工事名・請負者
前田・三井住友・大日本・アイサワ中央新幹線第一首都圏トンネル新設（梶ヶ谷工区）ほか
工事共同企業体
- 工事の所在地
神奈川県川崎市宮前区梶ヶ谷 1390 JR 貨物ターミナル構内

～ 令和7年度 全国労働衛生週間スローガン ～

ワーク・ライフバランスに意識を向けて ストレスチェックで健康職場

○ 工事の概要

リニア中央新幹線のうち品川駅から神奈川県新駅（仮称・相模原市）までの約 37km の間は、地下に「第一首都圏トンネル」を構築する。このうち梶ヶ谷工区は、等々力非常口から東百合丘非常口の区間、延長約 11.8km、深さ 45～90m の大深度、長距離のトンネルを設ける工事で、梶ヶ谷非常口（立坑）を発進基地とし、東百合丘・等々力の 2 つの立坑へ向かってシールド工法により、トンネルを掘削する。併せて、本線トンネルに加え、保守用車両の留置場所を構築する。



■朝礼会場に大型モニターを設置して、日々の打合せに使用するほか、現場のルール、災害事例の紹介等の情報提供、作業手順周知会、安全教育に活用して、作業員の理解度向上を図ることとしている。



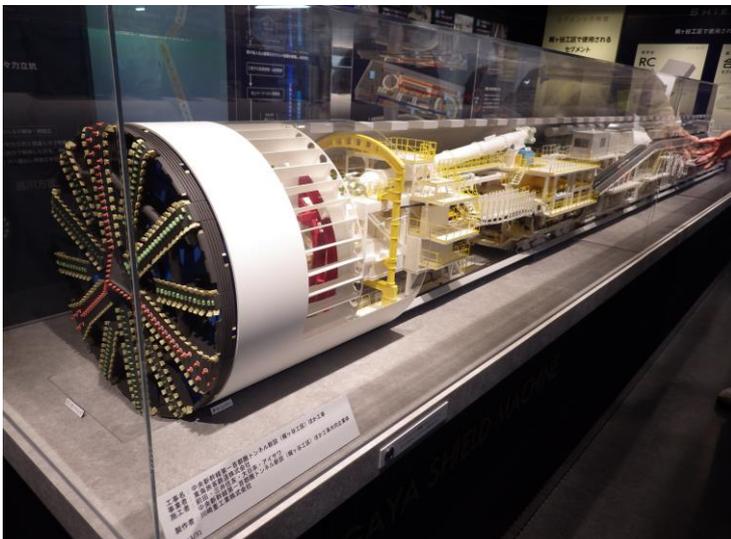
☞ 熱中症予防対策として、Cool Work キャンペーン Mission zero を掲示し、意識の高揚を図っているほか、現場内の各所で暑さ指数の計測を行っている。



☞ 外国人労働者向けの母国語による現場内のルールを掲示して注意喚起をしているほか、スマートフォンを利用したヒヤリハット事例の収集を行なっている。



講評をする児屋野局長（中央）



シールドマシンの模型

講評では、児屋野労働局長からトンネル工事は、第10次粉じん障害防止総合対策に基づき適切な対応を図っていただく必要があります。こちらでは、粉じん発生量の少ないシールド工法が採用され、切羽部分を密閉する措置が図られているとのご説明をいただきました。当局管内の建設業における死亡災害が10件と昨年と比べて大幅に増加している状況にあり、大変憂慮をしています。安全は日々の積み重ねであります。こちらの現場では、引き続き、発注者、関係請負人の方々と緊密の連携を図り、労働災害のない建設現場に向けて、取組を進めていただけますようお願いいたします。

パトロールを受け入れていただきました「前田・三井住友・大日本・アイサワ中央新幹線第一首都圏トンネル新設（梶ヶ谷工区）ほか工事共同企業体」様、御対応ありがとうございました。